



竹田人形館春の特別展示

古の雛人形展

2月16日～4月上旬

竹田扇之助記念国際系操り人形館では「古の雛人形展」を開催します。飯田市内の旧家に伝わる江戸時代から大正時代までの内裏雛を中心に展示します。江戸時代に島田村(現松尾地区)の庄屋を勤めた森本家の内裏雛(写真)をはじめ、見事な雛人形をぜひご覧ください。



「実のなる」交流へ

りんごごと柿の苗木を植樹

3月13日

東京都渋谷区と座光寺地区の交流の第一歩として、3月13日(土)、渋谷区山谷小学校と同原宿外苑中学校に、両地区代表者の手でりんごごと柿が植樹されます。植樹後は手入れに訪れ、住民同士の交流へ。夢は交流のシンボルとして、「渋谷りんごの森仮称」の開設。りんご並木の心が住民レベルの交流を通して広がることを願っています。

あとがき

「ふるさとの香りが伝わってきた」「表紙の柿すだれ(写真がとても懐かしい)」「ふるさと、ググおいしかったよ」...。本紙創刊号を送付した後、多くの声を寄せていただきました。みなさんありがとうございます。

今回は寒中号をお届けします。本当は「新年号」としたかったのですが、作業が寒中にずれ込んでしまいました。

寒い季節を過ごした分、春の訪れがとても楽しみです。寒さが厳しければそれだけ、春はいつそう美しく感じられます。もうしばらく寒い日が続きそうです。ご自愛くださいますよう。

寒中お見舞い 申し上げます。

寒い日が続いています。みなさまいかがお過ごしでしょうか。

県南とはいえ、ここ座光寺はやはり信州。冬の寒さはなかなかです。今年に入り、凍みるような日がしばらく続きました。立春を過ぎ、日差しがやわらいできると、いつそう春が待ち遠しく感じます。

それでも、この時季にしか見ることのできない美しい風景もあるのです。ひとつは座光寺富士。まだほの暗い中、朝日に照らされた山塊は、赤色に染まり際立ちます。それは、これから始まる新しい一日を象徴するような、新鮮さに満ちています。

次に南アルプス。こちらは夕映えです。山頂を雪に覆われた山々は、沈む陽を受け、朱色、赤紫、紫...と、数分の間に刻々と色を変えていきます。一日の終わりがまるで永遠の時間につながっているような、静かで深い色の風景です。



雪をまとった舞台桜と舞台校舎(1月14日)

麻績の里

座光寺便

2010.2
Vol.2
寒中号

南アルプスの夕映え。実際は写真よりずっとずっときれいです。ぜひ本物を見にお越しください。



いまずく
このQRコードを
読み取って
メルマガ登録!!



みんなで作りみんなで味わう楽しい夕食



りんごの摘果作業を体験

体験教育旅行の受け入れ 麻績ふるさと村

「座光寺の農家の暮らしを体験してもらおう。『麻績ふるさと村』は、飯田市の体験教育旅行の受け入れを契機に誕生しました。現在9戸の農家が、民泊を通じて子どもたちと交流を深めています。

田植え、畑の草取り、りんごの摘果、五平餅づくり…。普段

は決して味わえない体験に、子どもたちは素直に感動します。ほとんど口を利かない子が、農家のおばあさんに自分から話しかける姿に、先生たちが感動したこともありました。いつもの暮らしを体験してもらいたいから、決してお客様扱いしません。たった一晩の出会いが、手紙のやりとりで発展し、やがて心の交流に成長したことも。自分たちも子どもたちから学び感動をもらう、貴重な体験になります。

炉端対談

- ◆ おばあちゃん、これなあに？
- ◆ 焼き餅だよ。食べてみ。
- ◆ おいしい。いろんなものが入っているね。
- ◆ おばあちゃんの子どものころのおやつだよ。小麦粉を溶いて、味噌や柿や野菜の残りなんかを入れて焼いたんだよ。
- ◆ お菓子はなかったの？
- ◆ お餅を油で揚げた「ハゼ」というお菓子を親が作ってくれたね。昔は食べるものは何でも自分たちで作ったからね。大根や芋を干して今の時期に使ったし、外は寒いから、凍り餅や凍み大根も作ったんだよ。
- ◆ 干したり凍らしたりしたんだね。
- ◆ 昔の人は寒さや暑さといった気候を上手に活かしたんだね。何もなかったから知恵を働かせたんだ。
- ◆ へー。おばあちゃんたちは偉かったんだね。私も昔のおやつ作ってみたいな。おばあちゃん、教えてね。



寒風を利用して大根を干す

どんど焼き(ほんやり・おんべ)

「どんど焼きは昔は子どもたちの行事。だから作るのも子どもたちだけでやった。崩れないように、周りをワラをつないでしっかり縛る。ところが、ほかの地区の子どもたちが夜こっそりやってきて、結んだワラを切ったり、ひどいときは火をつけてしまう。そこでどの地区でも見張りを置いた。作ったどんど焼きの近くにワラで小屋をつくり、高学年が泊まって一晩中見張った。これがとても楽しかった。もちろん親は一切手も口も出さなかった」



「ふるさとパック」をご存知ですか。



「ふるさとパック」は旬の座光寺農産物の詰め合わせ。ふるさとを離れて暮らす方に、自然の香りや懐かしい味をお届けしています。一度ご家庭でご利用ください。

ふるさとパック冬 2,000円(送料別)

農産物詰め合わせ・何が入っているかは届いてからのお楽しみ!

- お申し込み先
麻績の里ふるさと
応援倶楽部
(TEL.0265-22-1401)
- お申し込み締切
平成22年2月26日
- お届け時期
平成22年3月始め



前回のふるさとパック『秋』



すっきりさわやか大地のこだわり ヤーコン焼酎 「ヤー献」

「農園座光寺五人衆」が大切に育てた健康食品ヤーコンを、すっきりした飲み口の焼酎に仕上げました。

- ◆ 720ml(25度) 1,280円(税込・送料別)販売中
- ◆ 1.8リットル「瓶(かめ)」(30度) 5,800円(税込・送料別限定130本) 予約受付中【3月中旬発売】
- お申し込み・お問い合わせ
高岡亭酒店 TEL.0265-22-5777